

くらしをささえる、「人と技術」がわかる2日間

ふれあい土木展2014

日時 平成26年11月14日(金)・15日(土) あさ10時~夕方4時

会場 国土交通省 近畿技術事務所

参加無料
どなたでもご参加いただけます



※災害対策ヘリは
15日(土)のみ

建設機械と
記念撮影も
できるよ!



観て

触れて

体験

できる!!

わたしたちのくらしは、土木技術とともに発展してきました。
道路や橋、ダムや港などの土木施設をとおして、くらしを豊かにして、
まもっていく人と技術は、これからますます大切になっていきます。
土木にまつわる人と技術が集う2日間。ぜひ、ご来場下さい。

土木・防災に関する
クイズラリー開催

※15日(土)のみ

枚方市より菊苗プレゼント!

14日(金)、15日(土)とも午前10時30分、
午後1時30分の各2回。毎回先着100個



アーチ橋組立体験



水没ドア・浸水歩行体験



国土交通省 近畿地方整備局 近畿技術事務所

大阪府枚方市山田池北町11-1 ☎(072)856-1941(代表) <http://www.kkr.mlit.go.jp/kingi/>

安全・安心をささえていく土木技術の魅力!

人と技術にふれあう多彩な催しをお楽しみ下さい。

会場
本館講堂
(受付横)

経験豊かな専門家や土木女子に学生。さまざまな情報発信ゾーン!

講演「日本史の謎を「地形」で解く」 目からウロコ! 歴史ファン、地理ファン必見!

長年にわたり土木に携わってきた竹村公太郎さんが、その豊富な経験と知識を駆使して、歴史上のできごとを「地形」に着目してひも解きます。

日時 / 11月15日(土) 13:00~14:00

講師 / 竹村 公太郎 氏

(日本水フォーラム事務局長、元近畿地方建設局長)

テーマ / 「日本史の謎を『地形』で解く」

定員 / 150名

プロフィール

たけむら こうたろう 特定非営利活動法人 日本水フォーラム事務局長
竹村 公太郎 工学博士



1945年生まれ。東北大学工学部土木工学科1970年修士修了後、建設省に入省。近畿地方建設局長を経て国土交通省河川局長。2002年に退官後、2006年より現職。インフラからの視点による文明論を展開して活躍。著書に「日本文明の謎を解く」(清流出版2003年)、「土地の文明」(PHP研究所2005年)、「幸運な文明」(PHP研究所2007年)、「本質を見抜く力」(養老孟司氏対談) (PHP新書2008年)、「日本史の謎は地形で解ける【環境・民族篇】」(PHP文庫2014年)など多数。

今、話題の『土木女子』によるトークセッション

現場監督、設計者から、研究者、学生まで、土木の世界で働き、学ぶ女性たちによる座談会。女性ならではの視点から土木の魅力や夢を発信!



女性土木技術者座談会

日時 / 15日(土) 14:15~15:15

研究室対抗 関西土木リーグ

関西の10大学の土木系研究室がパネルや模型などで技術研究とその魅力を競います。栄冠はみなさんの投票で! 土木の未来を担う若い力に声援を!



学生によるポスターセッション / 15日(土) 10:00~12:00
技術研究パネル展 / 14日(金)、15日(土)

会場
グラウンド

ここでなら、観られる!触れられる!体験できる!『土木ワールド』を楽しもう!

建設機械の運転席も体験できるよ!

- 災害対策ヘリコプターの操縦席体験(15日のみ)
- 建設機械の運転席体験(ブルドーザー、パワーショベル)
- 災害現場で活躍する災害対策車の実演・見学



災害対策車両が集合



迫力ある建設機械を近くで見てみよう

- 浸水時の水没ドア・浸水歩行体験
- 車いすでバリアフリー体験



車いすに乗ってみよう



水没ドアを体験してみよう



災害のしくみや調査を実演するよ!

- 模型による「地震・津波」「土石流」「液状化」の実演・展示
- TEC-FORCE (テックフォース)の装備公開
- UAV(ラジコンヘリコプター)実演・展示
- 顕微鏡を使った水生生物の観察コーナー
- 枚方市~菊花と里山展示 等



土石流(どせきりゅう)を体験

駐車場には限りがあります。ご来場はバスをご利用下さい。



主催：近畿技術事務所
参加：近畿地方整備局(本局・淀川河川事務所・大和川河川事務所・大阪国道事務所・浪速国道事務所・六甲砂防事務所・淀川ダム統合管理事務所)
国土地理院 近畿地方測量部、気象庁 大阪管区気象台、枚方市、(一社)日本建設業連合会 関西支部、(一社)建設コンサルタンツ協会 近畿支部、(一社)日本道路建設業協会 関西支部、(一社)日本建設機械施工協会 関西支部、(公社)日本測量協会 関西支部、(一社)大阪府測量設計業協会
後援：(公社)土木学会 関西支部、(一社)近畿建設協会